(その三)

工場又は事業場の名称	河村産業株式会社 かずさ工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5　6									

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5　6									

（その四）

工場又は事業場の名称	河村産業株式会社 かずさ工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成１６年度
使　用　量 (kg／年度) （１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	7700. ×１０
排出等の量 (kg／年度)	68.
処理回収率 (%)	99.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数 （基）

備考

1　この項の提出は任意であること。
2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。
3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。
{（使用量－排出等の量）／使用量}×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
56									

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	日本ドラム株式会社 富津工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	3 1	3 3	3 9	5 1	9 1	9 9			

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

昨年と同様に炭化水素除去装置・密栓型塗装ブース・オートカラーチェンジャー・
塗装焼付型炉・ホットエアレス塗装方式により揮発性有機化合物の排出量を５０％
以上の削減を実施しております。
目標年度の削減策定について
今回、提示した目標年度の「排出等の量」が増加いたしましたが、生産量の増加
により揮発性有機化合物の使用量が増加する傾向となりました。
23年度からは、現在使用している薬品の変更を行っており、揮発性有機化合物に
該当しない製品を利用する事で、使用量及び排出量の削減を実施していきます。
また、今まで通り削減対策に対し努めて参ります。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	3 1	3 3	3 9	5 1	9 1	9 9			

（その四）

工場又は事業場の名称	日本ドラム株式会社 富津工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 19年度
使　用　量 （kg／年度） （1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	6500000. ×10
排出等の量 （kg／年度）	3300000.
処理回収率 （%）	49.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）

備考

1　この項の提出は任意であること。
2　基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
3　使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。
{（使用量－排出等の量）／使用量}×100

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
21	31	33	39	51	91	99			

その他（19，29，39，49，59，99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

平成18年10月の工場設立時から炭化水素除去装置・密閉型塗装ブース・オートカラーチェンジャー・塗装焼付山型炉・ホットエアレス塗装方式を設置し、操業と同時に５０％以上の揮発性有機化合物の削減を実行しています。

備考　この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	日伯エタノール株式会社 袖ヶ浦事業所

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1									

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

袖ヶ浦事業所は、基材ガソリンにバイオエタノールを３％以下の比率で混合したＥ３ガソリンを関東近辺の給油所に供給することを目的に設置した事業所で、「エコ燃料実用化地域システム実証事業」として、平成２０年１０月から大阪府、平成２１年４月から環境省の委託を受けて実施しているものである。
また、設備は日本アルコール産業（株）からの借用であり、貯槽等は同社がエタノール用に使用していたものを転用している。
今後、Ｅ３ガソリン利用拡大に伴って使用数量・排出量が増加していくものと想定されるが、単年度予算で実施している事業であることから、排出抑制効果及び投資効果等を勘案して、排出量削減のための具体的な対策を検討していく。
平成２２年３月から基材ガソリンタンク用にインナーフロート式3,200ＫＬタンク(18.404mφ)の使用を開始し、基材ガソリンの受入・貯蔵を出来る限りインナーフロート式タンクへシフトしていく。（対策１－４１　受入・貯蔵時の低減策）

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1									

（その四）

工場又は事業場の名称	日伯エタノール株式会社 袖ヶ浦事業所

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成２１年度
使　用　量 （kg／年度） （１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	2100000.
	.
排出等の量 （kg／年度）	.42000.
処理回収率 （%）	98.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）
1

備考

1　この項の提出は任意であること。
2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。
3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。
　{（使用量－排出等の量）／使用量}×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

平成２１年4月1日現在において、対象事業所に該当することとなった為に、基準年度以前においては実績が有りません。

備考　この項の提出は任意であること。

（その三）

工場又は事業場の名称	林時計工業株式会社 部品事業部

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

使用金属が変わり、製品重量が増加したため、洗浄方法が変わり、溶剤の使用量が増加が考えられます。今後、工程の改善や溶媒の見直しにより揮発性有機溶剤の削減に努めます。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2								

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社荏原製作所 袖ヶ浦事業所

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 1									

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 1									

（その三）

工場又は事業場の名称	東洋スチレン株式会社 君津工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3 ： 2	5 ： 3	：	：	：	：	：	：	：	：

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3 ： 2	5 ： 3	：	：	：	：	：	：	：	：

（その四）

工場又は事業場の名称	東洋スチレン株式会社 君津工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成１２年度
使　用　量 (kg／年度) （1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	1.4×10^8
排出等の量 (kg／年度)	150.
処理回収率 (%)	100.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）

備考

1　この項の提出は任意であること。

2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。

3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。

4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。

{（使用量－排出等の量）／使用量}×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
32	53								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 荏原製作所 富津事業所

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	2 1	2 9	3 9	9 9				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

排出量を前年度の同量以下にすると共に、仕事量の増減を考慮できるよう、原単位化を検討する。また、指針第４の４（５）による「VOC排出量をVOC使用量の５０％以下に削減する」を平成２６年度までの目標とする。
1. 塗料対策(11、12)
低VOC塗料：標準化、客先への提案、実機への適用、評価
2. 溶剤対策：蓋閉めの徹底(21)
3. 洗浄剤対策
洗浄方法の工夫・変更(29)、高圧蒸気洗浄の使用頻度向上(29)
洗浄工程の廃止(29)：防錆方法の変更
4. その他の対策
廃棄物管理(99)：残液の回収、残液のVOC含有量の算出
塗料庫の入出庫管理の徹底(99)、ｴｱﾗｯﾌﾟｶﾞﾝの使用(39)

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	2 1	2 9	3 9	9 9				

(その三)

工場又は事業場の名称	ＤＩＣ ＥＰ（株） 袖ケ浦工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 9	5 2								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

前年度と同様タンク内温を５５℃に管理し、揮発性有機化合物の分圧を低下させます。
尚、目標年度（平成２３年度）の使用量の値は平成２２年度実績値と同値としました
（６６０００００ｋｇ／年度）。
東日本大震災の影響も少なくエコ製品の堅調な伸び（ＨＶ車のパワーモジュール等の
自動車部品用途、電気・電子部品用途、住設機器部品用途　等）が継続しています。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 9	5 2								

（その三）

工場又は事業場の名称	東芝コンポーネンツ(株) 君津地区

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	3 4							

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	3 4							

（その三）

工場又は事業場の名称	新日化エポキシ製造株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3　2	2　9	5　3							

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

基本的に既設は、下記の内容を採用した設備となっております。
①常温より高い温度の溶剤排気ガス系統に対しては、凝縮コンデンサーと、更に
低温冷媒を通水したアフタークーラーを設置し、大気への溶剤排出を防止しています。
②生産調整が可能の場合は、溶剤回収時間を延ばす事によりコンデンサーの負荷を下げ溶剤排出量
を削減する。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3　2	2　9	5　3							

（その四）

工場又は事業場の名称	新日化エポキシ製造株式会社 千葉工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（1）基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成１２年度
使用量 （ｋｇ／年度） （1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	3600000. ×１０
排出等の量 （ｋｇ／年度）	1200000.
処理回収率 （%）	97.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）

備考

1 この項の提出は任意であること。
2 基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。
3 使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。
　{（使用量－排出等の量）／使用量}×１００

（2）基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 3									

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考 この項の提出は任意であること。

（その三）

工場又は事業場の名称	新日化機能材製造株式会社 木更津エスパネックス工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１		対策２		対策３		対策４		対策５		対策６		対策７		対策８		対策９		対策10	
2	1	3	1	3	4	5	2	5	4	9	1								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため基準年度の翌年度以降新たに実施し又は実施した対策について別表から該当する記号を選んで記載すること複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１		対策２		対策３		対策４		対策５		対策６		対策７		対策８		対策９		対策10	
2	1	3	1	3	4	5	2	5	4	9	1								

（その四）

工場又は事業場の名称	新日化機能材製造株式会社 木更津エスパネックス工場

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成１８年度
使用量 （ｋｇ／年度）	２６０００００． ×１０
（１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること）	
排出等の量 （ｋｇ／年度）	１４０００． ９９． （処理回収率 (%)）

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改年度造した固定屋根式タンクの基数（基）

備考

1 この項の提出は任意であること。

2 基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。

3 使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。

4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。

｛（使用量－排出等の量）／使用量×１００　｝

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策１０
２１	３１	５２	５４	９１					

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	広栄化学工業株式会社 工場（袖ヶ浦地区）

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 4	5 2								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 2	5 4								

(その三)

工場又は事業場の名称	ミマキ電子部品㈱ 君津事業所

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1									

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1									

（その三）

工場又は事業場の名称	株式会社アベイラス 本社工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 3	2 9							

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策３について 作業工程の見直しによる清浄部位及び回数の削減

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 3	2 9	1 1						

（その三）

工場又は事業場の名称	日本オキシラン株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
9　9									

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

千葉県条例において、平成２２年度までに平成１２年度排出量の３０％削減目標が設定されておりますが、弊社単独でなく住友化学（株）千葉工場全体（合弁会社含む）で削減目標を達成する取組みを行っております。その為、住友化学（株）千葉工場全体で優先度を決めて、削減計画を作成しておりますので弊社単独で計画は立案していません。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
9　9									